



エコ・カレッジ通信は毎月(第3火曜日)定期開催される北海道 GPNエコ・カレッジカフェでの学生・企業の環境活動等の取組事例を紹介します。今回第8号はエコ・カレッジカフェ第8回目(7月21日、会場アースカフェ・インザループ、参加者約15人)の発表内容を掲載します。

学生と地域で考えるまちづくり委員会

「私たちの環境活動について～その後」
小山 直樹(北海道大学 法学部)

今年2月のエコ・カレッジカフェ第4回に続いて2回目の発表です。

●まちづくり会の活動

- ◎ほらほら幌北の刊行
- ◎HPの作成 <http://horokita.net/>
- ◎留学生との交流事業
- ◎ミニミニ雪まつりの開催(子供達とのふれあい)
- ◎夏祭りの運営
- ◎地域イベントの参加

●夏祭りでの環境活動①

ezorockと協力してゴミの分別活動(子供達への環境教育の一環)

●夏祭りでの環境活動②

- ・アンケートによる環境意識調査、キャンドルのリユース・節約意識の啓発
- ・2009年7月1日から始まった札幌市におけるごみ有料化による分別の変更の宣伝
- ・コンポストの使用による生ごみの堆肥化のデモンストレーション



●その他の環境活動

HPによるゴミ情報の発信(外国人用)やイベントでのペットボトルキャンドル作り



エコライン株式会社

『節水からできること』

エコライン(株) 札幌支店

アドバイザー 森山 知洋 氏

大切に貴重な水資源

～20世紀は石油、21世紀は水の時代～

- 地球全体で私たちが利用できる水は、**わずか0.01%**
地球の表面の約70%は海水に覆われている。
淡水のほとんどは氷河、氷床、氷山として存在する
- 地球規模では、**水問題**が大きな課題
 - ・温暖化による水害発生件数増加
 - ・人口増や経済発展による水需要増加
 - ・水をめぐる紛争の勃発
- 日本は、**世界第4位の水消費国**であり、大量の水を輸入している
 - ・・・人間が最低限必要な1日の水が50ℓといわれる中、
札幌市民は家庭用水で1日**200ℓ**も消費
 - ・・・農作物や飼料等を通じて大量の**バーチャルウォーター**(仮想水)を輸入
- 北海道内でも近年**雪不足**や**湧き水の減少**が顕著な傾向

参考)札幌の降雪量推移

【札幌の降雪量推移(10月～3月までの降雪量比較)】



【雪は天然のダム】

水源林の雪解け水がゆっくり融けて、年間を通じて北海道は、安定した水を確保できています。



節水のメリット ～水やお湯のムダを無くして、CO2を減らそう！～

～『節水』から始まるCO2削減～

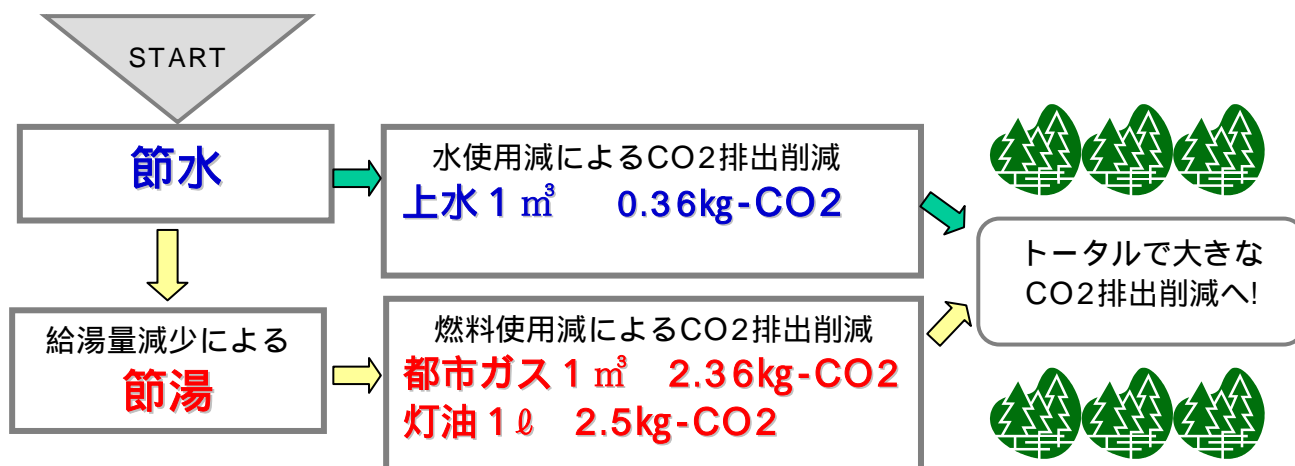
節水によって、次の3つのエネルギーが削減できます。

- ①きれいな水をつくり、届けるエネルギー（上水供給のエネルギー）
- ②使った水をふたたび自然に還すエネルギー（下水処理のエネルギー）
- ③温水をつくるためのエネルギー（ボイラの稼働エネルギー）

・とくにシャワー・キッチン・洗面等の湯量削減が大きく反映

節水によりこれら3つのエネルギーを削減することは、即ちCO2削減！

節水を基軸にした CO2 排出量削減概念図



ちょっとした工夫で出来る節水術

☆水の流しっぱなしを減らすことがまずは大切！！ ※1 m³ = 216 円で計算（札幌市家庭用）

①歯磨きでコップに水を汲んで磨く

（30 秒間水を流しっぱなし：約6ℓ）≫（コップに汲んで磨く：約 0.6ℓ）

⇒1ヶ月で4人家族で 1.3 m³（＝約 1300ℓ）の節水

⇒水道：年間 約 3400 円の節約 / 年間 約 6 kgのCO₂削減

②食器は汚れをふき取ってから洗う・汚れの少ない順番に洗う

（水を流す時間を1日2分短くする：約 24ℓ節約）

⇒1ヶ月で約 8.5 m³（＝約 8500ℓ）の節水

⇒水道：年間 約 22000 円の節約 / 年間 約 37 kgのCO₂削減

③シャワーの使用時間を減らす（体を洗っている時にシャワーを止める）

（10 分間止めずに使う：約 150ℓ）≫（こまめに止めて5分：約 75ℓ）

⇒1ヶ月で4人家族で 9 m³（＝約 9000ℓ）の節水

⇒水道：年間 約 23,000 円の節約 / 年間 約 39 kgのCO₂削減

⇒ガス：年間 約 50,000 円の節約 / 年間 約 580 kgのCO₂削減



【水道料金の決まり方】

浄水費用の他に、地形等に起因する水源確保の費用・運搬費用、利用者数等が左右するため、自治体毎で大きな差が生じています。

節水装置「エコタッチ」で無理なく節水

節水装置「エコタッチ」とは

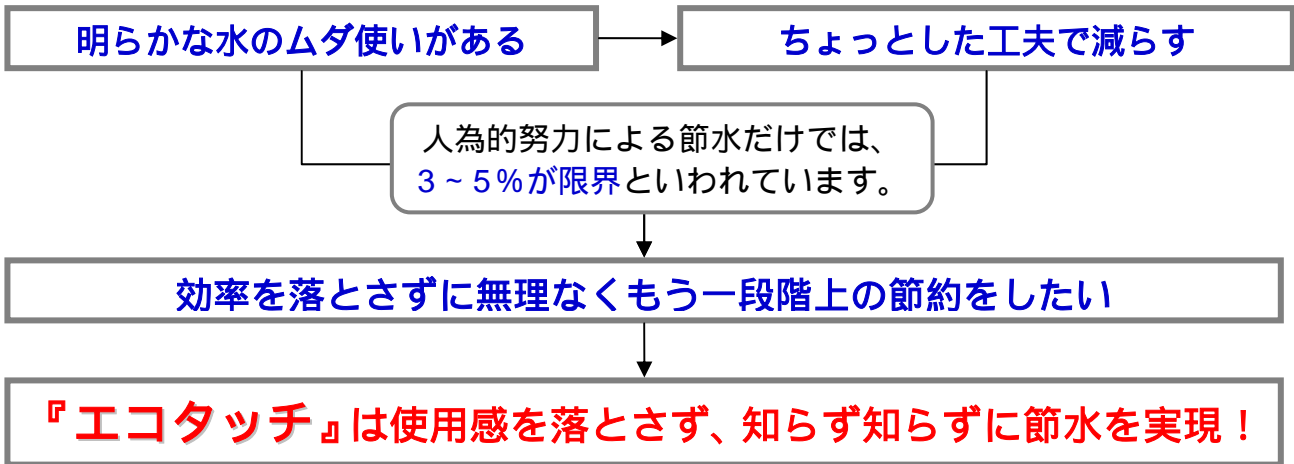
●経産省 省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」受賞製品

⇒「蛇口に取り付け、ニーズに応じた流量調整が簡単に出来、節水で省エネに貢献できる技術」と評価

●環境省 グリーン購入法適合商品 平成 19 年 2 月 2 日に『特定調達品目』として閣議決定

●特許を取得商品（平成 20 年 3 月 第 4100693 号）

●グッドデザイン賞受賞 節水シャワーヘッド等の新ラインナップ



「エコタッチ」節水シャワーをみんなで使うと...



☆札幌近郊の大学生の5%の世帯数に当る 3,177 世帯(1 世帯
 当たり 2.5 人家族)
 合計 7,942 名みんなでシャワーを節水したら...

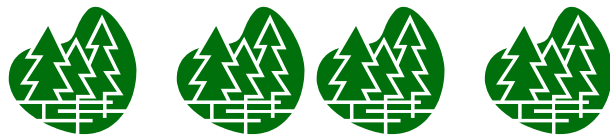
⇒1ヶ月で 5,212 m³(=5,212,000L)の節水が出来る試算に！

【経済効果】

- ①水道:年間 約 13,530,000 円の節約
- ②ガス:年間 約 28,430,000 円の節約
- 合計年間 約 41,960,000 円の節約

【環境貢献効果】

- ①水道:上水1m³⇒ 0.36 kg-CO₂
 年間 約 22,500 kg(23 トン)の CO₂ 削減
- ②ガス:都市ガス1m³⇒2.36 kg-CO₂
 年間 約 335,000 kg(335 トン)の CO₂ 削減
- 合計年間 約 358 トンの CO₂ 削減



毎年約24,650本分のトドマツの森を構築するのと同程度の環境貢献

※トドマツ1本で、年間平均14.5kgのCO₂を吸収
 札幌市発行 さっぽろエコライフ12より引用

連絡先:エコライン 株式会社 札幌支店
 TEL 011-251-6681 FAX 011-251-6683
 URL <http://www.eco-line.co.jp>

「グリーン購入しよう！」

北海道グリーン購入ネットワーク 事務局長 大内 一弘



グリーン購入とは??

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること。

1. 必要性の考慮

購入する前に必要性を十分に考える

- ◆ まず必要性を考える
- ◆ 現在の所有製品の修理・リフォーム
- ◆ 共同利用・所有、レンタル
- ◆ 購入する場合は、購入数量を削減

「モノ」の購入から「サービス」の購入へ →グリーン・サービサイジング

Repair, Reform, Renewal(修理する)

Rental, Lease(借りる)

Up-grade(性能を向上させる)

Sharing(共同所有・利用する)

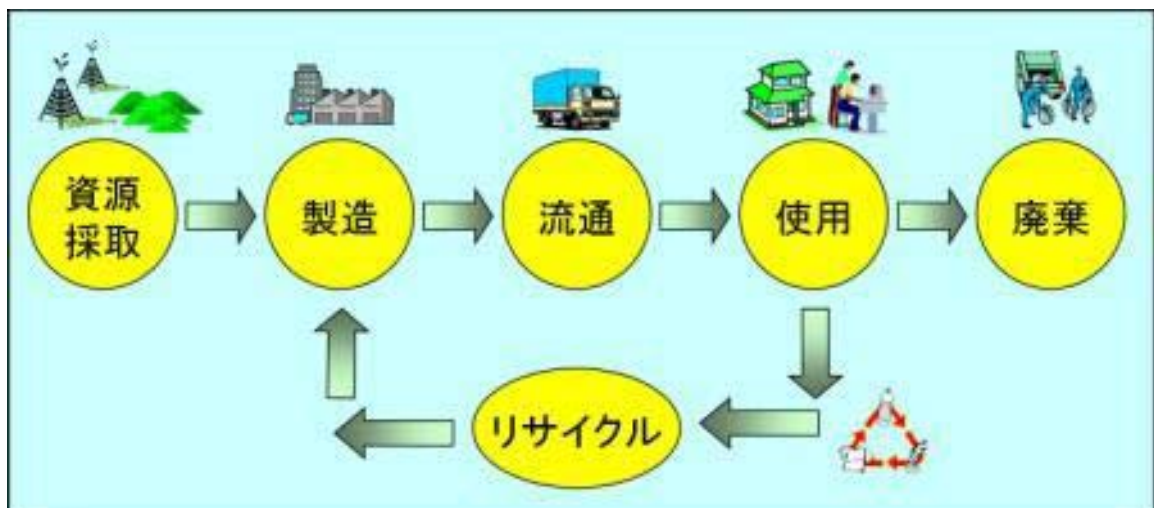
「モノ」ではなく「使用価値」を買う時代へ「所有」から「共同利用」へ

2. 製品・サービスのライフサイクルの考慮

資源採取から廃棄までの製品ライフサイクルにおける多様な環境負荷を考慮して購入する

- ①環境汚染物質等の削減
- ②省資源・省エネルギー
- ③天然資源の持続可能な利用
- ④長期使用性
- ⑤再使用可能性
- ⑥リサイクル可能性
- ⑦再生素材等の利用
- ⑧処理・処分の容易性

製品の一生(ライフサイクル)を考える



3. 事業者の取り組みの考慮

環境負荷の低減に努める事業者から 製品やサービスを優先して購入する

- ①環境マネジメントシステムの導入
環境方針、体制、計画、目標、検証、従業員教育等
- ②環境への取り組み内容
省資源、省エネ、化学物質の管理削減、グリーン購入、廃棄物の削減、社会貢献等
- ③環境情報の公開
環境報告書、ホームページ、カタログ等

4. 環境情報の入手・活用

製品・サービスや事業者に関する環境情報を積極的に入手・活用して購入する

- ◆第三者機関による情報
エコマークなどの環境ラベル
GPNの購入ガイドライン、データベース(HP)等
 - ◆事業者からの情報
商品カタログ、ホームページ、環境報告書等
- ※情報がなければ、メーカーや取り引き業者に積極的に情報を求める

注目される環境情報

カーボンフットプリント



すべての製品やサービスが対象で、製品の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して、排出されるGHG※の排出量を地球温暖化に与える影響の程度によってCO2排出量に換算して、当該製品に簡易な方法で、わかり易く表示する仕組み。

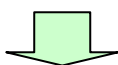
グリーン・エネルギー・マーク



自然エネルギーから作られた電気を「グリーン電力」といい、製造工程で「グリーン電力」を全体の10%以上使用している商品を識別するために、このマークが作られました。

数ある環境活動の中から、何故「グリーン購入」なのか？

- ◆様々な環境問題を入口側から解決できる
- ◆社会を変える潜在的なパワーがあり、社会全体で 取組むことで環境負荷低減効果が大きい
- ◆設備投資、認証費用など、コスト負担が基本的に 不要ですぐにでも取り組める
- ◆それぞれの環境活動のレベルで取り組める。
(最初は専門的な知識がなくても参加できる)
- ◆コストダウン効果など、メリットがある など



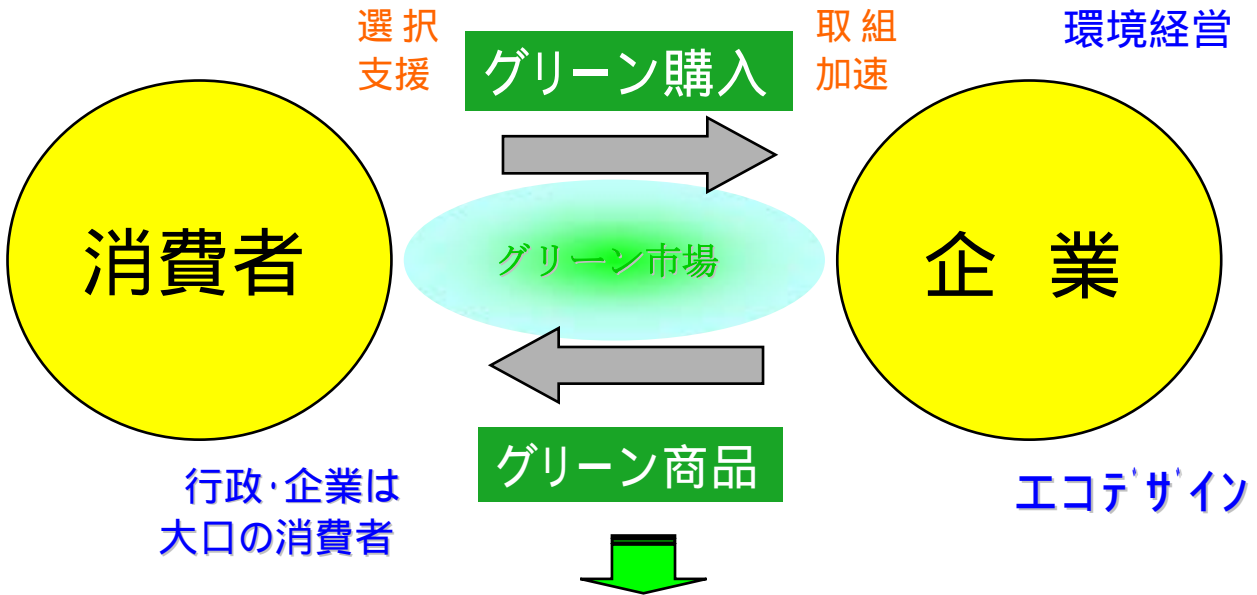
グリーン購入は、企業、行政、消費者にとって取り組みやすい環境活動のひとつ

グリーン購入の効果は？

- 省エネ・省資源、廃棄物削減などの環境負荷低減
- コストの削減(物品等の購入コスト、消費エネルギーコスト、廃棄物処理コストなど)
- 関係者の環境意識向上
- 団体としての環境姿勢の対外的開示
- 地域でグリーン購入を進めることで、地域の事業者に対し環境配慮型製品の開発・販売、リサイクルなど環境に配慮した事業活動を促進できる
- 地方公共団体は、住民との接点も多く、地域に活動を普及させることで地域としての環境負荷を継続的に低減できる

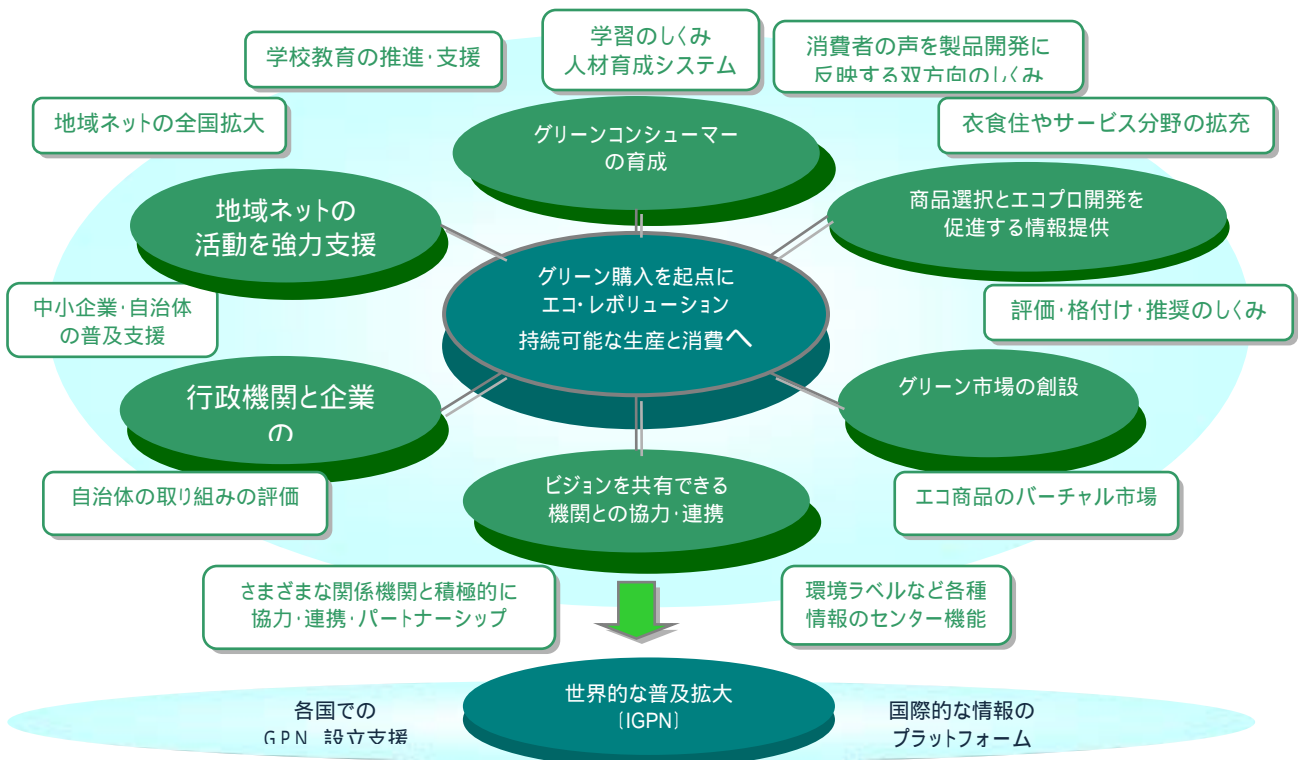
グリーン購入が企業を動かし、社会を変える

市場を通して 企業の環境経営・商品開発を促進する



環境と経済の両立・持続可能な経済社会を構築

GPNの今後のビジョンと活動方針の全体像



会場:アースカフェ・インザループ(札幌市北区北 14 条西 3 丁目ル・ソレイユ 1 階)



◆事例発表者、参加者大募集！！

(エコ・カレッジ通信、開催当日の様子はウェブサイトからご覧いただけます)

詳しくはこちらまで↓

作成:北海道 GPN 事務局(担当 大内)

〒060-0002 北海道札幌市中央区北 2 条西 14 丁目 2-3

連絡先:TEL 011-222-0234 FAX 011-222-0235

E-mail : staff@hokkaido-gpn.org

URL : <http://www.hokkaido-gpn.org/>